



申12号 2025年度賃金引上げ等に関する申し入れ 申13号 2025年度夏季手当に関する申し入れ

第3回交渉
その3

▼主な組合の主張

主な会社の回答▼

3 回答ゾーンよりも早い回答について

- 連合が先行組合回答ゾーンを設け、回答は3月11~14日のゾーンで要求した。
- 何故、回答ゾーンの前に回答したのか。
- 味の素が満額回答で3年連続6%、サントリーも7%。サッポロも6.4%である。それに比べJR東日本は先行回答としては賃上げ率が低い。
- JR東日本が、要求に満額で応えていない状況だ。産業トップのJR東日本に他の企業も続く。
- 満額回答でないと言う考えは他企業にも波及する。早く示したいという理由で、回答ゾーンより前に満額でない回答を行ったことは春闘破壊だ。

- 世の中の動向は認識している。
- 社員へ少しでも早く伝えたいこと踏まえ回答した
- 当社は定期昇給、基本給改定を足すと平均5.68%。賃金引上げは初任給特別措置0.44%を含め6.12%だ。踏み込んで回答している。
- 全体での引き上げ額は6.12%であり、会社としては踏み込んで回答している。
- 春闘破壊と主張があるが、会社としてそのような考えはない。

4 賃上げ率の表現について

- 定期昇給、ペア、5.68%が賃金引き上げの数字である。初任給特別措置は別の内容であり現在も議論中である。全体の賃上げとして6%超えるという記載の仕方はいかがなものか。
- ペア平均額は13,782円だとあった。ペアは主任職で12,900円だ。他に何を加えているのか。
- ペアは基本給の引き上げだ。都市手当はおかしい。
- 数字を多く見せているためではないか。

- この間の処遇改善も加味した中でわかりやすさの観点で記載している。
- 都市手当の影響もある。
- わかりやすく示すことが重要である。
- 考え方は変わらない。都市手当も含めこの間、定期昇給やペアを示している。



5 エルダールの賃上げ回答について

- エルダー社員、8,000円の根拠について伺いたい。

- 要求に届かないことあるが、この間の努力に対する主張を受け止めている。最大限の回答である。

6 定期昇給「昇給係数4」について

- 定期昇給「昇給係数4」の実施を確認するが、定期昇給でさえ「慎重に判断」と回答されたことに対して怒りの声が多く寄せられている。

- 長期的に人件費に影響を及ぼす事から慎重に判断するという事が重要だという事を伝えたかった。

7 定昇カットの分の別途支給について

- 「定昇カット」について回答をいただきたい。
- カットされた昇給係数2の生涯賃金に及ぼす影響が大きい。

- コロナ禍の中で、厳しい経営状況での必要な判断。遑って支給するものではない。
- 遑って支給するものでないが、新賃金を見ても、加味して回答している

8 第二基本給制度の凍結について

- 「第二基本給の凍結」についてはどうか。
- 若手組合員・社員の退職金への影響を考えると、早急に検討し改善を求める。

- 見直しは単独で実施するものでない。広く影響がある。
- 何ができるのかを検討していく。

9 65歳定年制について

- 「65歳定年延長」について回答をいただきたい。示せる段階で示すと言うが、いつ頃か。
- JR採用も差し迫った課題である。

- これまでの働き方や処遇等広範囲に課題がある。検討し示せる段階で示す。
- JR採用は平成3年度から入社が多い。全体のスケジュール感の認識もある。

